

令和元年度

# 事業報告書

特別養護老人ホームしうんじ

広域型

地域密着型

短期入所生活介護

デイサービスセンターしうんじ

ホームヘルプサービスしうんじ

老人介護支援センターしうんじ

新発田北地域包括支援センター

## 目 次

I 施設運営状況		II 本部関係	
1 延利用者数・事業収入の予算との比較	5	1 理事会開催状況	12
2 人材の確保・育成・定着に向けて	7	2 法人監事監査状況	12
3 各事業所の取り組み状況と事業の達成度		3 評議員会開催状況	12
(ア) 特別養護老人ホーム	8	4 その他の委員会の開催状況	12
(イ) デイサービスセンター	8	ア 苦情解決委員会	12
(ウ) ホームヘルプサービス	9	イ 入所検討委員会	12
(エ) 老人介護支援センター（居宅介護支援）	9		
(オ) 地域包括支援センター	10	III 職員の構成	
4 設備整備・更新の状況	11	1 職員構成	13
		2 資格保有状況	14
		3 有給休暇取得状況	14
		4 採用・退職の状況	14

# I 施設運営状況

## 1 延利用者数及び事業収入額の予定及び予算との比較

	延利用者数			事業収入額			
	予定	実績	差異	予算	決算	差異	予算比較比率
特別養護老人ホーム	28,434	28,522	88	354,808	357,498	2,690	100.8%
本入所(広域型)	17,885	17,864	△ 21	211,868	212,718	850	100.4%
本入所(地域密着型)	7,154	7,018	△ 136	104,892	103,159	△ 1,733	98.3%
短期入所	3,395	3,640	245	38,048	41,621	3,573	109.4%
デイサービスセンター	10,348	10,885	537	97,578	105,617	8,039	108.2%
介護保険事業 通所介護	7,623	8,753	1,130	82,622	93,901	11,279	113.7%
総合事業							
現行相当	2,178	1,833	△ 345	12,536	10,491	△ 2,045	83.7%
通所型サービスA	72	51	△ 21	140	93	△ 47	66.4%
通所型サービスC	288	98	△ 190	1,284	439	△ 845	34.2%
訪問型サービスC	72	24	△ 48	408	134	△ 274	32.8%
地域ふれあいルーム(受託事業)	115	126	11	588	559	△ 29	95.1%
訪問介護	3,642	3,567	△ 75	15,834	15,207	△ 627	96.0%
介護保険事業 訪問介護	3,313	3,281	△ 32	14,488	14,341	△ 147	99.0%
総合事業							
現行相当	37	21	△ 16	166	71	△ 95	42.8%
訪問型サービスA	292	265	△ 27	1,180	795	△ 385	67.4%
居宅介護支援	1,668	1,767	99	24,173	26,486	2,313	109.6%
介護支援	1,428	1,564	136	23,244	25,686	2,442	110.5%
介護予防支援	168	148	△ 20	650	587	△ 63	90.3%
介護予防ケアマネジメント	72	55	△ 17	279	213	△ 66	76.3%
地域包括支援センター(受託事業)	-	-	-	32,530	31,418	△ 1,112	96.6%
包括的支援事業							
基本運営費	-	-	-	23,206	22,480	△ 726	96.9%
介護予防ケアマネジメント	696	614	△ 82	3,094	2,745	△ 349	88.7%
ときネット支援補助費	12	12	0	12	12	0	100.0%
救急医療キット配布事業	12	7	△ 5	3	2	△ 1	66.7%
住宅改修支援費	2	3	1	4	6	2	150.0%
認知症地域支援推進事業	-	-	-	840	840	0	100.0%
介護予防支援	1,224	1,210	△ 14	5,371	5,333	△ 38	99.3%
計				524,923	536,226	11,303	102.2%

(ア) 特別養護老人ホーム

長期入所（広域型・地域密着型）の退所者は19人で、年間の退所者の人数は見込みどおりでしたが、空床の一部を短期入所利用に活用したことから新規入居者の受け入れに期間を要し、見込みを下回りました。

短期入所では長期入所の空床を積極的に活用し、緊急の受け入れに応えたことから利用者数及び収入が見込みを上回りました。

(イ) デイサービスセンター

介護保険事業利用者の介護度区分の変動及び新規利用者数の増により、介護保険事業利用者数及び収入ともに見込を上回りました。

総合事業対象者では要介護認定区分に移行された方が増えたこと及び対象者の希望が見込みより少なく、目標を下回りました。

(ウ) 訪問介護

連日サービスを利用されていた方のサービス終了による影響もあり、年度前半のサービスが伸びず、サービス件数と収入が見込みをやや下回りました。

(エ) 居宅介護支援

事業所の職員体制を増員したこと。また、紫雲寺・加治川地域外の利用者へのサービスを開始し、サービス量・収入ともに見込を上回りました。

(オ) 地域包括支援センター

介護予防支援・介護予防マネジメントの対象利用者が見込みを下回りました。

## 2 人材の確保・育成・定着に向けて

### ① 人材確保

ホームページ及びハローワークに適時、求人をするとともに、人材紹介や無料求人広告のなどを活用し、人材の確保に取り組みました。

また、令和2年度に卒業する大学・短大・専門学校生に向けた求人として、求人情報サイトである(株)マイナビに新規加入し、公募を開始しました。

【採用14人の採用ルート 直接応募3人、新規学卒2人、ハローワーク3人、人材紹介6人】

### ② サービスマナーの向上

福祉サービスは、①人間尊重、②利用者を大切に思う気持ちを適切に表現することが大切です。

日ごろのサービス提供において、職員の関わりでサービスマナーに欠ける事象が見受けられていることから、半年をかけて実態把握及び研修内容を吟味し、全職員を対象とする福祉施設におけるサービスマナー研修を実施しました。

サービスマナーは、研修を受けてすぐ身に着けられるものではありませんが、令和2年度において各グループごとの傾向や各自の行動を振り返りながら日々のサービス提供においてサービスマナーの向上に取り組んでいきます。

### ③ 人材の定着

介護職員の採用や定着を大きな柱に令和元年6月に職員給与規程を変更し、初任給の改善、夜間勤務手当の増額を開始しました。

また、経験のある介護福祉士に対し、令和元年10月から介護技能手当等（月額40,000～20,000円）を支給し、賃金改善を図りました。

### 3 各事業所の取り組み状況と事業の達成度

#### (ア) 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設・地域密着型介護老人福祉施設・短期入所生活介護）

##### ① 重点的に取り組んだ事項

- i 入退所の実態等の現状に合わせ、看取り指針を見直しました。
- ii 短期入所生活介護計画書について、更新時期や新規利用当日までに計画書を作成し、説明・同意を確実に行いました。（短期入所）

##### ② 事業達成度及びその理由

- i 広域型・地域密着型は退所者や入退院が多数重なり、新規受け入れまでに時間がかかったため目標事業量を下回りました。
- ii 短期入所は緊急の利用希望に可能な限り応え、利用いただいたこと。広域型・地域密着型の空きベッドを活用しサービス提供したことで目標事業量を大きく上回りました。
- iii 特養全体としては、目標事業量を達成しました。

#### (イ) デイサービスセンター

##### ① 重点的に取り組んだ事項

##### i 個別の事情に応じたサービス提供

前年度同様、利用者の個別の事情に合わせサービス提供時間の延長や短縮等の対応をしました。また、サービス利用中に体調を崩されたときは、本人や家族の状況を踏まえ、受診の支援や体調に合わせたサービス提供を行うなど柔軟に対応しました。

##### ii 業務日課の見直し

利用者数が増えたことから従来の業務内容を見直し、求められるサービスが継続できるよう職員の勤務体制を整えました。

また、職員の退職や育児休業等が重なり、慢性的に職員が不足しましたが、他事業所職員と協力・連携し、サービスに支障をきたさないよう取り組みました。

##### ② 事業達成度及びその理由

上記取り組みの結果、数値目標を達成しました。

(ウ) ホームヘルプサービス

① 重点的に取り組んだ事項

i 関係職種とタイムリーに情報共有

状態変化が見られた場合、ときネットや連絡票を活用し、関係職種へタイムリーに情報提供を行ったことで利用者に必要なサービスの提供につながり、状態低下を防ぐことができました。

ii 急なサービス利用への対応

家族からの急な要請や事情に合わせたサービスの提供を行い、家族の不安を和らげ、安心した在宅生活の継続につなげました。

② 事業達成度及びその理由

通所サービスや施設サービスを利用される方が多く、利用者数が減少し目標事業量を若干、下回りました。

(エ) 老人介護支援センター（居宅介護支援）

① 重点的に取り組んだ事項

i 共同事例検討会の開催

特定事業所加算Ⅱの算定要件を満たすことと、ケアマネジメントの質の向上を目的に、しばた社協居宅介護支援センターと共同の検討会の開催に向けて企画・検討しました。7月に開催した共同事例検討会には、新たに加治川の里・訪問看護ステーションランジュの職員も参加し合計15人で開催しました。

共同企画をしたことから“他の事業所と同じ目的に向かって意見交換を重ねて合意形成していくことの難しさ”を感じました。次年度の企画に活かしていきます。

ii 新発田北地域包括支援センターとの合同事例研究

要支援から要介護に介護認定区分が変わり、当事業所が担当した方のサービスの終結事例についての事例研究を行いました。

包括支援センターが関わりを開始した経緯、支援のなかで課題と感じていたこと、担当が変わる際に引き継がれなかった情報も含めて事例研究を行ったことで、改めて把握した事柄に気づき、情報共有の大切さとともに利用者・家族の理解を深める機会となりました。

包括支援センターから利用者の引継ぎを受けることが多く、引継ぎを受けるときに“何が重要となる情報か”を見直すきっかけとなりました。

iii 特養ホームしうんじに本入所する方の初回のカンファレンスへの参加

ケアマネージャーは在宅で担当していた利用者が「何を大切にし、どういったことを望まれてきたか」を大切にしながら、在宅サービス計画を立てています。

そこで、特養ホームしうんじに本入所される方について、特養ホームで開催される初回（入所前）カンファレンスに4回出席し、在宅で大切にされてきたことや利用者の意向等を伝えることで“その方らしさ”を支える支援が継続されるよう、4情報共有を図りました。

iv 主任介護支援専門員研修に2名が受講終了し、下期は5人の主任介護支援専門員体制で事業運営しました。

## ② 事業達成状況

上期は利用者が増加し、特に介護給付については4月から9月で10件増となりました。しかし、下期は減少し、10月から3月では18件減でした。

原因としては例年に比べ施設入所者が多かったこと、新規利用者が少なかったことが考えられます。一年を通じては目標を達成しました。

## (オ) 地域包括支援センター

### ① 重点的に取り組んだ事項

#### i 認知症支援の継続

平成30年度に引き続き小学生（藤塚小学校4年生、加治川小学校4年生）に対して認知症サポーター養成講座を開催しました。地域ボランティアの協力も得ながら小学生が理解しやすいよう、劇を通じて認知症の理解を図りました。また、ボランティアが作成した認知症サポーターのロバ隊長マスコットを記念品として小学生に渡しました。講座のなかで小学生から「認知症は治るの?」といった質問や「認知症という言葉は聞いたことがあったけど、どういう意味か初めて分かった。」といった感想をいただきました。

平成30年度に引き続き「認知症の方と家族の集い」を6月・9月・12月に開催しました。実際に認知症の方の介護をしている家族、地域の認知症ささえあいメイトの方、新発田市社会福祉協議会、圏域の介護サービス事業所（加治川の里、しうんじ）と企画しました。

参加者同士、顔の見える関係ができ、介護の大変さなどを話し合える環境が整ってきています。また、「認知症の方と家族の集い」の参加をきっかけに認知症ささえあいメイトの方が認知症の方のお宅に訪問するなど、直接的な支援にもつながった事案もありました。

#### ii 北圏域多職種連携の会

北圏域の医療介護関係者で組織する「北圏域多職種連携の会 企画委員会」に参加しました。月1回の企画会議を重ね、紫雲寺地区住民を対象に「人生会議」をテーマとしたフォーラムを開催しました。住民の方48名、医療介護関係職員11名の参加がありました。終了後のアンケートでは「こんな（介護）サービスもあるのなら自宅で最期まで過ごしたい」という意見もありました。

#### iii ちょこっとボランティア

新たな事業開始に向け準備を整えて民生委員や自治会長、一人暮らしの方々などに活用を勧めました。その他、回覧板でチラシで広く周知しました。

暖冬で雪かき等の必要性は低かったものの多くの問い合わせがあり、1件の雪かきの紹介（ボランティアと利用者の仲介）をしました。

## ② 事業達成状況

#### i 介護予防支援は、数値目標を下回りました。

#### ii 権利擁護に関する相談13件のうち、9件が虐待による通報・相談でした。虐待の通報・相談の発信元では介護支援専門員から6件、介護保険サービス事業所から2件、本人から1件で、いずれも関係機関と連携し、早期に支援したことにより大事なく経過されています。

## 5 設備整備・更新の状況

### (ア) 建物・建物附属設備等

工事内容	施行完了日	施行业者	契約金額
食堂・厨房間のシャッターの改修	令和元年 5月24日	キングランメディケア(株)	313,200 円
L A N配線工事	令和元年 7月31日	N E Cプラットフォームズ(株)	129,600 円

### (イ) 車両運搬具

品名	台数	納入日	納入業者	契約金額
リフト付送迎車	1 台	令和元年11月19日	新潟トヨペット(株)	4,253,310 円

### (ウ) 器具及び備品

品名	台数	納入日	納入業者	契約金額
エアマット	3 台	令和元年 9月27日	ワタキューセイモア(株)	314,280 円
電動ベッド	2 台	令和元年10月17日	(株)ニイガタメデカルサービス	589,600 円
パソコン	14 台	令和元年11月19日	N E Cプラットフォームズ(株)	2,310,000 円
車いす用体重計	1 台	令和 2年 1月17日	さくらメディカル(株)	145,200 円
ティルト&フルリク車いす	1 式	令和 2年 1月17日	ワタキューセイモア(株)	136,100 円
電気温水器	2 台	令和 2年 3月28日	キングランメディケア(株)	352,000 円

### (エ) ソフトウェア

品名	台数	納入日	納入業者	契約金額
ほのぼのシステム 密着特養請求使用権	1 式	平成31年 4月12日	N E Cプラットフォームズ(株)	380,376 円

## Ⅱ 本 部 関 係

### 1 理事会開催状況

	開催期日	定数及び出席者数
第92回	6月12日	定数6人：出席6人、監事2人
第93回	6月27日	定数6人：出席6人、監事2人
第94回	3月28日	定数6人：出席6人、監事2人

### 2 法人監査状況

	開催期日	実施者
30年度 決算監査	6月 4日	監事2人

### 3 評議員会開催状況

	開催期日	定数及び出席者数
第50回	6月27日	定数8人：出席7人

### 4 その他の委員会の開催状況

#### ア 苦情解決委員会

	開催期日	委 員
平成30年度分	7月24日	第三者委員：2人 苦情解決責任者、苦情受付担当者6人

#### イ 入所検討委員会

	開催期日	出席者
第40回	6月 7日	委 員：1人    事務局：3人
第41回	7月31日	
第42回	10月10日	
第43回	2月 4日	

### Ⅲ 職員の状況

#### 1 職員構成

##### ① 年齢・勤務年数 (R2. 3. 31現在)

比較項目	人数	平均年齢	平均勤続年数
全職員	100	47.4歳	11.8年
正規職員	63	41.8歳	12.6年
契約職員	37	56.9歳	10.4年

##### ② 職種別構成 (R2. 3. 31現在)

	特養(広域型)	特養(地域密着型)	ショート	デイサービス	訪問介護	居宅支援	地域包括	合計
施設長	1							1
副施設長	1 (1)							1 (1)
生活相談員	1		2	2			2	7
介護支援専門員	1					5	2 (1)	8 (1)
看護師	4	1	1	4 (2)			1	11 (2)
機能訓練指導員				2				2
管理栄養士	1							1
介護福祉士	19 (5)	9 (1)	6 (3)	10 (6)	4 (2)			48 (17)
介護士	7 (7)	2 (1)		2 (1)				11 (9)
用務員				5 (5)				5 (5)
清掃員	1 (1)							1 (1)
事務員	3						1 (1)	4 (1)
計	39 (14)	12 (2)	9 (3)	25 (14)	4 (2)	5 0	6 (2)	100 (37)

注 1. ( )は非常勤職員数を再掲しています。 2. 職種兼務については主たる職種に計上しています。 3. 休職中(産休・育休等)の職員も計上しています。

#### 2 資格保有状況

介護福祉士1名、主任介護支援専門員2名、認知症ケア専門士2名、介護職員実務者研修1名、介護職員初任者研修1名が資格取得しました。

資格名	保有人員数	資格名	保有人員数	資格名	保有人員数	資格名	保有人員数
介護福祉士	56人	看護師	11人	主任介護支援専門員	6人	社会福祉主事任用資格	12人
社会福祉士	9人	理学療法士	2人	介護支援専門員	13人	介護職員実務者研修	1人
保健師	1人	管理栄養士	2人	准看護師	1人	介護職員初任者研修	6人

3 有給休暇の取得の状況

	付与日数	取得日数	取得率
紫雲寺加治川福祉会	17.6日	11.3日	67.4%
全産業平均	18.0日	9.4日	52.4%
企業規模：100～299人	17.7日	8.7日	49.4%

※ 全産業平均及び企業規模平均は厚生労働省の平成30年のデータ

4 採用・退職の状況

採用	職員区分	職名	人数
	正規職員		介護福祉士
		介護士	1
		社会福祉士	3
		准看護師	1
合計			7

採用	職員区分	職名	人数
	契約職員		介護福祉士
		介護士	3
		用務員	1
		清掃員	1
合計			8

退職	職員区分	職名	人数
	正規職員		介護福祉士
		介護士	1
		社会福祉士	1
		機能訓練指導員	1
		准看護師	1
合計			7

退職	職員区分	職名	人数
	契約職員		介護福祉士
		介護士	2
		用務員	1
		清掃員	2
合計			9

退職理由	定年		人数
	傷病		5
	個人的理由	結婚	0
		出産・育児	0
		介護・看護	3
その他の個人的な理由		7	

	入職率	離職率
紫雲寺加治川福祉会	13.9%	14.8%
全産業平均	15.4%	14.6%
福祉・医療平均	16.2%	15.5%

※ 全産業平均及び福祉・医療平均は厚生労働省の平成30年のデータ